



きんつちや祭！
ぐるっとまるごと枕崎！

■2月26日、NPO法人子育てふれあいグループ自然花の主催により木口屋集落で行われました。参加者はピザや巻寿司作りなどを楽しみました。



枕崎商工会議所青年部
ごみ拾い例会

■2月26日、市内8団体から106人が参加し枕崎漁港周辺で行われました。約1時間かけて計180*のゴミを収集しました。



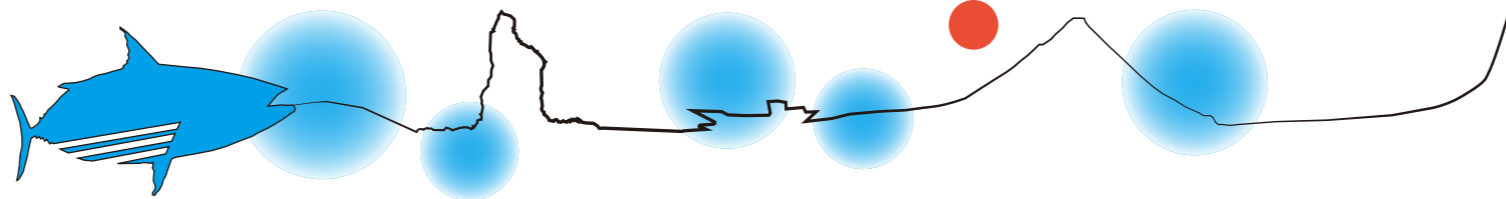
平成23年度大塚花き
生産者協会花き品評会

■3月9日、大塚公民館で行われ電照菊を中心に76点の出品がありました。審査員が草姿やボリュームなどを審査し、48点が入賞しました。



第2回子ども版枕崎
カツオマイスター検定

■3月17日、市内の小学5年生を対象に地場センターで行われ44人が受検しました。受検者はカツオのたたき作りやかつお節削り、筆記試験などに挑戦しました。



ほっとホット
フォトニュース



石巻市での追悼式にキク1550本贈る ～大塚花き生産者協会

宮城県石巻市で3月11日に行われた東日本大震災犠牲者追悼式に大塚花き生産者協会（桑原一幸会長）がキク1,550本を贈りました。

3月1日に同協会の役員で、会員が持ち寄ったキクの箱詰め作業を行い、石巻市に発送しました。

桑原会長は「震災から1年、私たちに何かできることはないかとみんなで考え贈ることを決めました。被災者の心を落ち着けることに役立てばと思います。一日も早い復興を願っています」と話していました。



松崎悠希さん 絵画コンクールで最高賞 ～第59回南九州美術展

県内有数の美術展である南九州美術展で枕崎中学校美術部の松崎悠希さんの水彩画「船と海」が、応募総数5080点の中から最高賞となる県知事賞を受賞しました。



▲松崎さんの作品「船と海」

光によるコントラストを鮮やかな色使いで表現した作品で、完成までに2か月を要しました。松崎さんは「こんなこと一生ないかもしれないと思うほど嬉しかった。もっともっと上手になりたいです」と話してくれました。また、同校は総合成績優秀校に贈られる学校賞も受賞しました。



駅通りを歩行者天国に春の市 ～まくらざき春の市

東日本大震災復興支援と九州新幹線全線開業1周年記念をテーマにした「まくらざき春の市」が3月11日、枕崎駅通り一帯で行われ、約2万5千人の人出でにぎわいました。

歩行者天国となった枕崎駅通りには、地元特産品がずらりと並んだほか、本市と友好都市締結が間近となった北海道稚内市の物産コーナーや「S-1グルメグランプリ」で優勝した「枕崎鯉船人めし」の出店もありました。また、特設ステージでは、地元バンドやダンスなどのパフォーマンスもありました。

最後は、東日本大震災の犠牲者への鎮魂の意を込めた花火を片平山から打ち上げました。

火の神乙女太鼓爽が全国大会5位入賞 ～第14回日本太鼓ジュニアコンクール

第14回日本太鼓ジュニアコンクール(全国大会)が3月25日、群馬県で開催され、火の神乙女太鼓爽が過去最高となる5位入賞を果たしました。



▲3月4日に行われた全国大会の様子(市民会館)

メンバーは小学6年生から高校2年生までの14人。大会では息の合った迫力ある演奏を披露し会場を沸かせました。リーダーの平田裕貴くん(枕崎高2年)は「全国制覇を合言葉にみんなでがんばってきたので、正直悔しいという気持ちはありますが、全員が持てる力をすべて出し切ったので入賞だったので嬉しかったです。来年こそは全国制覇を狙います」と話してくれました。



大学生が早春の南薩路をサイクリング ～6大学サイクリング部九州交歓会

鹿児島大学をはじめ、熊本大学や北海道大学など6大学のサイクリング部が九州各地を自転車で移動しながら観光を楽しみ、交流を深める恒例の九州交歓会が3月17日から5日間の日程で行われました。今回は南薩を一周するコースで、18・19日には本市に宿泊し、枕崎駅や明治蔵などで観光を楽しみました。

今回コースを企画した本市恵比須町出身の久保武義さん(鹿児島大学2年・写真右)は「生まれ育ったまちをみんなに紹介したかった。久しぶりの故郷は懐かしい気持ちでいっぱい。大学でできた仲間と故郷に来て幸せです」と話していました。

